

都政報告をする大山都議



頌春

新年明けましておめでとございませう。昨年、長引く不況の中、雇用もくらしもますます大変になった年でした。都政が本気になって住民の福祉、暮らしを守るという地方自治体本来の立場に立ち返ることが問われました。東京都の6兆円という予算規模は大阪府、神奈川県、埼玉県を合わせた予算とほぼ同じ規模です。都民のために使えば多くの都民要望が実現できます。

昨年暮れに発表された来年度予算原案は、1m1億円もかける外郭環状道路をはじめ、大型開発優先で、築地の豊洲移転を都民の反対を押し切って強引に推進するため、土壌汚染対策費など2年間で573億円もつき込もうとしていることも許せません。都民のくらし・福祉を中心にするような予算の使い方に転換させる必要があります。

一方、都民のみなさんの運動と力を合わせ、特別養護老人ホームの整備予算を2倍近くに増額させ、児童虐待対応のため児童相談所の児童福祉司の増員、訪問リハビリの人材育成、また認可保育園の定員を今年度の増加分より1.5倍に増やすことなど様々な分野で前進させることができました。

今年も引き続き、がんばりますので、よろしくお願いいたします。

二〇一一年一月 大山とも子



日本共産党東京都議団二ノ子
大山とも子だより
都民が主人公の東京へ

1月16日 290

発行

控室 日本共産党東京都議会議員団
電話 (03)3370-7270
FAX (03)3370-1790

連絡先

大山とも子事務所
新宿区住吉町11-25
電話 (03)3357-4381
FAX (03)3353-4912

都政に関するご意見・ご要望をお寄せください!

2011年

くらし、福祉、営業を守り、
豊かな教育を実現するために
全力でがんばります!



暮らし応援予算に 石原都知事に要望書を提出

大山とも子都議と日本共産党都議団は11月29日、東京都2011年度予算編成に対する要望書を石原都知事に提出しました。大山とも子都議が都として住まい・仕事・生活の支援を強めることなどの具体的な要望項目を説明。大学・高校生の就職活動への支援や、認可保育所・特別養護老人ホームの整備など福祉の拡充と雇用創出を一体で取り組むこと、都の正規職員採用の拡大を迫りました。



「熱中症から都民を守れ」都市づくり含め、総合的な熱中症対策をもとめ、都に申し入れ(9月8日)



「待機児をなくせ」子育て懇談会で報告をする大山とも子都議(5月22日)

シニアカーで通れない戸山公園の入口が 通れるようになりました!



シニアカーで通れない戸山公園の入口を建設局の課長さんたちと調査しているところ

通れるようになりました。ちょうど通りかかった双子のベビーカーもラクラク通ることができるようになり、お母さんが「双子にもやさしい公園ですね!」と、言っていました。今後、バイクなどの進入がなければ、他の公園にも広げる予定です。

特養ホームやショートステイが足りない デイサービスが行っている宿泊で課題が……



デイサービス事業所140カ所が宿泊実施 都議団で実態を調査実施し、都に申し入れ

東京都内の通所介護事業所1952カ所のうち140カ以上が宿泊事業を行っていることが、大山都議と都議団の調査で分かりました。

12月6日に記者会見し「切実な要望に応え努力している事業所もある一方、男女同室でプライバシーがない、防火・防災対策が不十分な事業所もある」として、「背景に特別養護老人ホームやショートステイの深刻な不足と利用料の高さがある」と指摘。都に、基盤整備とお泊りデイサービスの実態調査や都独自の基準をつくることなどを申し入れました。（都議団のホームページに全文掲載

してあります。調査結果と文書質問を掲載したパンフレットがあります）

12月24日に発表された来年度予算案で、特養ホーム整備費を今年度の2倍近くに増額させることができました。



12月6日、記者会見で調査結果と提言を発表する大山とも子都議と都議団

娘さんから苦情の申し立てをうけた東京都国民健康保険団体連合会（国保連）の調査の結果は、同施設には足の傷についての記録もなく、どのような健康管理等を行っていたのかも確認できず、そもそもいつ契約したのかも確認できなかったなど、重大な内容でした。

男女混合、
プライバシーもない

大山都議と都議団がこの施設を訪

国保連の調査は重大な結果が：
通所介護施設「清水の郷・デイサービス十条」が行う宿泊を利用していた方の娘さんから大山都議に相談が寄せられました。相談者のお父さんは、それまで介護していた相談者のお母さんが病気になるため3ヶ月にわたり同施設の宿泊を利用せざるをえませんでした。そして同施設から深夜に救急搬送された病院で、足のスネに骨が見えるほどの傷があることがわかりました。相談者は、いつ、どのように、利用していたお父さんがそれほど傷ができたのか施設に尋ねましたが、傷には気づかなかつた、記録もないという返事しか返ってきませんでした。

緊急事態にどうにも
行くところがない要介護高齢者

問したところ、10畳程度の日中は通所事業で使用する部屋で、3人の男女がザコ寝のような状態でした（多い日は6人）。2年以上宿泊している利用者もいました。職員は、日中の勤務からそのまま夜勤に入り、翌日も続けて働き、職員用の仮眠室もなく、台所の食卓に突っ伏して寝るなど、過酷な労働条件におかれていることもわかりました。

東京都は、デイサービス事業所を指定する権限を持っています。都議団の全国調査で兵庫県など六県が独自に指針などをもって指導しています。大山都議は厚生委員会です。まず、東京都が実態調査を行うことなどをまとめましたが、狩野高齢社会対策部長は「保険者（区市町村）やケアマネージャーが適切に把握すべき」とし、自らの責任は全く果たそうと

チェン展開している事業者も

は、デイサービス事業所の宿泊事業には、デイサービスでなじみの関係をつくり、緊急の場合に宿泊を受け入れている所もあります。ところが最近、初期投資が少なく、介護報酬と宿泊の自費利用料で安定した収入が入るからとフランチャイズ加盟店を募集している所もあります。デイサービス事業所の宿泊事業は、介護保険外の自主事業のため、法的な規制・基準の対象外とされて

都議会第1回定例会日程(予定)

- 2月 8日(火) 開会日 知事・施政方針
- 15日(火) 本会議 代表質問
- 16日(水)、17日(木) 本会議 一般質問
- 18日(金)、21日(月) 各常任委員会
- 22日(火) 本会議(中途議決)

大山とも子都議は厚生委員会です。

- 23日(水)～25日(金) 予算特別委員会
- 28日(月)～3月3日(木) 各常任委員会
- 3月 7日(月)、8日(火) 予算特別委員会
- 11日(金) 本会議 討論・採決

ぜひ傍聴に
お越しください



第四回定例会の詳しい内容については、都議団報告をお読みください。1月第4週の赤旗日曜版に折込む予定です。



厚生委員会の大山とも子都議の質問や日本共産党都議団の通所介護事業所の調査が、週刊東洋経済(12月18日付)やネットニュースのキャリアアブレイン、シルバー新報でとりあげられました。

いて、「貧困ビジネス」化、「高齢者のネットカフェ」といわれるような状況がひろがっています。「30泊31日」という料金表をつくり、長期利用を前提にして事実上「入所」に近いような運営がされている場合もあります。